

—あおぞら—

第55回大気環境学会年会開催のご挨拶

第55回大気環境学会年会 年会長
大気環境学会 会長
愛媛大学農学部 教授
若松 伸司

第55回大気環境学会年会が、平成26年9月17日からの3日間、国立大学法人愛媛大学城北校舎で開催されます。本年会では約350の一般発表（内約120のポスター発表）が行われると共に、3件の特別集会（16の発表）、8件の分科会（24の発表）が予定されております。

参加者の皆様への有用かつ最新の情報提供の場として、環境機器展も併せて開催致します。これと共に就職相談コーナーの設置も新たに企画いたしております。

今回の年会では発表申し込み時の判断をより容易にするために、最近の研究分野の変化も考慮して発表分類を刷新致しました。また、電子化の要望に対応して講演要旨集を年会ホームページからダウンロード出来るようにしました。55回目の節目の年会でもあることから、公開国際シンポジウムを二日目の午後に企画いたしました。ここでは、『オゾン、VOC、PM_{2.5}の生成機構解明と対策シナリオ』を共通のテーマとして、メキシコ、韓国、日本、中国の先導的な研究者から最新の研究成果を御紹介いただきます。地域の大气汚染防止と地球温暖化対策の双方に効果的な対策シナリオを考える一助にしたいと願っております。公開国際シンポジウムは皆様からの寄付で費用の一部を賄う予定に致しておりますので、御支援のほどよろしくお願い申し上げます。

四国での年会開催は大気環境学会の歴史の中で初めてのことでありますので不慣れなことばかりですが、大気環境学会中国四国支部の皆様方からの絶大なるご支援を賜りつつ鋭意、企画・準備を行っております。

皆様には、研究発表の場にかぎらず期間中に開催されます諸行事の中で広く交流を深めいただきたく存じます。懇親会では温泉を楽しみながらご懇談いただくことが出来ますので、ふるってご参加下さい。愛媛の美味しい品々をご用意しております。

多くの大気環境研究分野の関係者が集う大気環境学会年会は、貴重な情報交換の場となっておりますので、“お・せ・っ・た・い”の心で皆様のお越しをお待ち申し上げます。